



2026 年(令和 8 年)10月22日

昨年来場約5,000人。 「楽しい(FUN)」から多様性を体感する 『FUNclusion Week 2026』、障害者週間に今年も開催。

— 独自調査データを踏まえ、“自然にとなり合える”空間設計へアップデート —

株式会社大広(本社:東京都港区、代表取締役社長:泉 恭雄、以下 大広)は、12 月の「障害者週間」に合わせて実施した体験型イベント『FUNclusion Week 2026』を、今年も下北沢・BONUS TRACK などで開催いたします。本イベントは、大広が発信する「FUN(楽しさ)」×「Inclusion(包摂)」を掛け合わせた体験型プロジェクトです。初開催となった昨年は約5,000人とたくさんの方にご来場いただきました。2 年目となる今年も継続開催し、さらなる定着・発展を目指してまいります。



【イベント概要】

- イベントタイトル: FUNclusion Week 2026 (ファンクルージョンウィーク)
- 日程: 2026 年 12 月 5 日(土)
- 会場: BONUS TRACK ほか
- 主催: 株式会社 大広
- 内容: アート展示、トークイベント、ワークショップ、映画祭ほか
- 公式サイト: <https://funclusion.jp/>



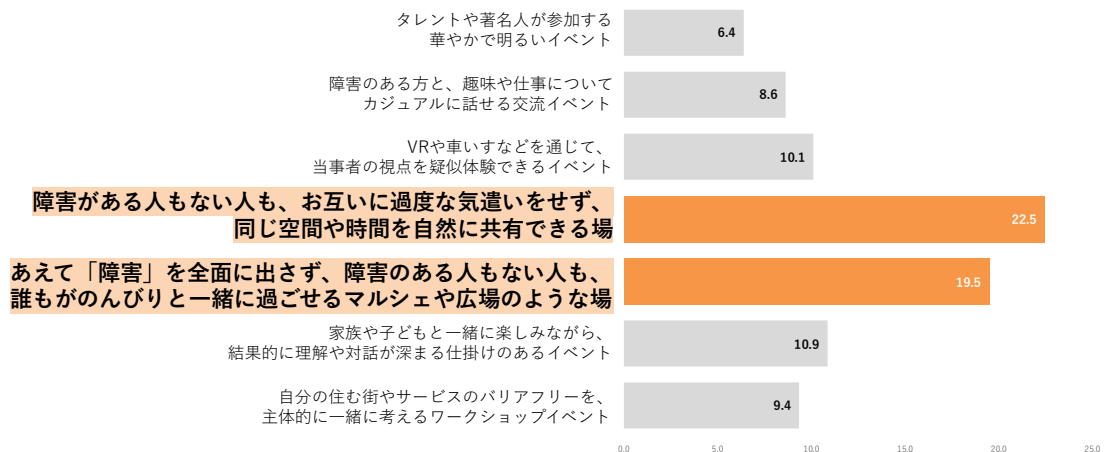
■第2回開催の背景と2026年のテーマ

目的がなくてもふらっと立ち寄れる心地よさを大切に。特別なイベントではなく、それぞれのペースや距離感で多様な価値観が軽やかに“となり合う”空間を目指します。

FUNclusion(ファンクルージョン)は、FUN(楽しい)×INCLUSION(包摂)をあわせたことば。国内の「多様性(Inclusion)」の事例を研究して見つけた「FUN(楽しさ)」な仕掛けを参考に作り出した新しい多様性へのアプローチ方法です。このアプローチをより多くの方に体験していただきたいという思いで、昨年12月の障害者週間にあわせて下北沢でFUNclusion Week というイベントを開催致し、多くの方にご来場いただきました。

今年の開催に向け、大広では生活者の多様性や共生社会に関する意識調査を実施したところ、「参加してみたいと思う多様性をテーマにしたイベント」としては、「過度な気遣いを必要としない、自然に時間を共有できる場」がトップ2を占める結果となりました。この結果を受け、私たちは、本イベントを、様々な方たちにとってより自然に楽しめ、居心地のよい場所になることを目指して、第2回目のイベントを企画・開催致します。

Q これまでの多様性や共生社会の啓発イベントの枠を超えて、「これなら自分に関係がある」「今までにない新しさがある」と感じ、参加してみたいと思うイベントは？



※2026年2月実施、大広独自調査 n=405名



【第2回開催のステートメントとキービジュアル】

●ステートメント

わたしでいて、あなたという。

これが好きとか、あれが嫌いとか。
得意だとか、苦手だとか。
それと、障害があるとか、ないとかも。

違いはホントに人それぞれだけど、
楽しいことが好きなのは、みんないっしょ。

だからこそ私たちは、
インクルージョンを「楽しさ」から考える。

大事にしたいのは、まざり合うより、となり合えること。
ありのままの自分でいて、あなたとも一緒にいられること。

思いやりでお互い上手にやるのもいいけれど、
いっそのこと、みんなの楽しさが、自分らしさが、
まるごと入る余白をつくってしまおう。

でっかい公園みたいな、
いつ来ても、誰もが気ままに楽しんでいるあの感じを、
みんなの想いとアイデアで、この社会に実装していく。

それが、FUNclusionWeek。

— Copywriter : 村上耀

●キービジュアル

日程 | 2026.12.5 (SAT(土)) 入場無料
FUNclusion Week
場所 | BONUS TRACK 下北線路街

FUNで、包み込む。FUNで、つながる。
そのままでもいいし、誰かと一緒に交ざり合ってもいいという
FUNclusionならではの姿勢を、カッコ記号をモチーフにして
ロゴとキービジュアル連動で表現しました。



— Art Director : 齊藤あかり



【注目コンテンツ】

—昨年好評いただいた企画が、今年も開催決定！—

●しずかでうるさい洋食屋さん

なんと無料でミニフードを注文できる洋食屋さん。ただし注文では声を使わずジェスチャーで！が、このお店のルール。いつもと違うコミュニケーションの世界を体験し、おいしいフードをゲットしませんか？さらにお店の中では、ろう文化に触れられる様々なワークショップの開催も予定しています。

しずかで
うるさい
洋食屋
さん



●「五感」で遊ぼう！FUNclution Park

指先の感覚を頼りに遊ぶ不思議なゲームや、手探りで欲しいお菓子を当てる駄菓子屋さんなど、「五感」で楽しむみんなの広場！



●Eテレ「The Wakey Show」のラジオカーがやってくる！

毎朝、子どもたちの心と身体を Wake Up させる E テレ「The Wakey Show」のミニイベントが開催。FUNclution なクリスマスカードづくりのほか、DJ ウェイキーのラジオカー「Wakey 号」に乗って記念写真も！



※ その他、プログラムも準備しております！

詳細やタイムテーブルは、11月中旬に公式サイトにて公開予定です。

※FUNclution Week 2025 場面写真撮影 | 橋本美花

<上記に関するお問い合わせ> 株式会社 大広 広報局 広報部

〒105-8658 東京都港区芝 2-14-5 TEL:03-4346-8111 MAIL : info@daiko.co.jp



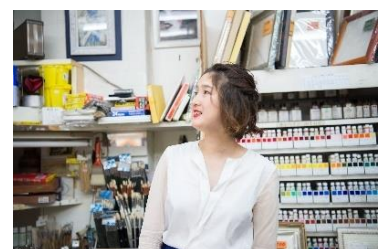
【クリエイター／協力】

本イベントは、多彩なクリエイターとプロセスも FUNclusion に、企画や運営を行っています。



石井健介

ブラインド・コミュニケーター | 1979 年生まれ。アパレル/インテリア業界を経てフリーランスの営業・PR として活動。2016 年の 4 月、一夜にしてほぼ全ての視力を失うも、軽やかにしなやかに社会復帰。2021 年からブラインド・コミュニケーターとしての活動をスタート。見える世界と見えない世界をポップに繋ぐためのワークショップ/講演活動をしている。2025 年 2 月よりヘラルボニーのウェルフェア 事業部に業務委託として参画、研修改発や講師として携わっている。TBS Podcast『見えないわたし の、聞けば見えてくるラジオ』パーソナリティ。著書『見えない世界で見えてきたこと』(光文社)



MAGNET

発明家・高橋鴻介とリサーチャー・和田夏実を中心とした、新しい「あそび」をつくるデザインコレクティブ。様々な人とコラボレーションしながら、年齢や国籍、障がいの有無といったちがいを超えて、人と人がつくっていくようなインクルーシブな遊びを生み出すことを得意としています。



ろうちょ〜会

2018 年に設立された「ろうちょ〜会」は、ろう者 5 人と手話ができる聴者 2 人で活動している団体です。新卒で社会に出た当時、聴者の上司とのやり取りの中で感じた“伝わりにくさ”への戸惑いをきっかけに、「声に頼らないコミュニケーションを知ってみたい」という思いから生まれました。「声に頼らない」会話をしてみよう——。筆談、身振り手振り、手話など、さまざまな方法で伝え合うことで、目を合わせて分かり合うことの大切さに気づいてほしい。そんな願いを込めて、イベント企画や企業向けワークショップなど、幅広く活動しています。

<上記に関するお問い合わせ> 株式会社 大広 広報局 広報部

〒105-8658 東京都港区芝 2-14-5 TEL:03-4346-8111 MAIL : info@daiko.co.jp



【会場】

下北線路街



小田急線「東北沢駅」～「世田谷代田駅」の地下化に伴い、全長約 1.7km の線路跡地を開発して生まれた新しい“街”です。

BONUS TRACK



ボナストラックは、2020 年 4 月に誕生した、みんなで使い、みんなで育てていく新しいスペース、新しい“商店街”です。小田急線の線路跡地である、「下北線路街」のエリアのひとつとして下北沢駅と世田谷代田駅の間、ちょうど中ほどに生まれました。個性豊かな飲食店や物販店に加え、コワーキングスペースやシェアキッチン、広場といった、訪れる人自身も、新たな文化をつくる仲間になれるような、参加の余白もたくさん用意しています。

■報道関係者の皆さまへ

本イベントは、「DE&I」や「インクルーシブデザイン」を、下北沢という街のカルチャーに溶け込む「日常の心地よい空間」として社会実装する取り組みです。企業やメディアの皆様の視察・取材を歓迎いたします。当日の空間設計の工夫や、これからの社会における新しい居場所づくり、企業協賛の新しいカタチなどについて、個別取材にも柔軟に対応いたしますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。



【株式会社大広会社 概要】



私たち大広は、「顧客と社会に愛され続けるブランドを 企業の志と共につくる」をミッションとし、「顧客基盤の持続性」と「社会の持続性」をともに見据えたブランディングを支援します。

私たちが大切にしているのは、企業と、顧客と、社会をつなぐ真ん中にある価値、「顧客価値」です。この「顧客価値」を導き出すのが「Deep Dialogue デザイン(深層対話に基づく、マーケティング&顧客体験の設計思想)」です。

顧客や社会との深い対話を通じて顧客価値を発見し、そこを起点にフルファネル統合支援を通じて新規顧客の獲得から長期的な顧客基盤の構築までをサポートします。

顧客、企業、社会をつなぐコミュニケーションをデザインすることで、持続的なブランディングのパートナーとしてクライアント企業に伴走します。

株式会社大広 公式サイト <https://www.daiko.co.jp>